



# 熱中症 クールワーク キャンペーン

職場での熱中症により近年は、  
一年間で約30人が亡くなり、  
約1,000人以上が4日以上  
仕事を休んでいます。



◀ キャンペーン実施要項

キャンペーン期間

4月  
準備

5月

6月

7月

8月

9月

重点取組

準備期間 **4月** にすべきこと

きちんと実施されているかを確認し、  
✓チェックしましょう。

## 労働衛生管理体制の確立



事業場ごとに熱中症予防管理者を選任し  
熱中症予防の責任体制を確立

## 暑さ指数(WBGT)の把握の準備



JIS規格に適合した暑さ指数計を  
準備し、点検

## 作業計画の策定



暑さ指数に応じた休憩時間の確保、作業中止  
に関する事項を含めた作業計画を策定

## 設備対策の検討



暑さ指数低減のため簡易な屋根、通風  
または冷房設備、散水設備の設置を検討

## 休憩場所の確保の検討



冷房を備えた休憩場所や  
涼しい休憩場所の確保を検討

## 服装の検討



透湿性と通気性の良い服装を準備、送風や  
送水により身体を冷却する機能をもつ服の  
着用も検討

## 教育研修 の実施



管理者、労働者に  
対する教育を実施

ガイド・教育動画

e-learning



## 緊急時の対応の事前確認



緊急時の対応(異常時における連絡体制や  
対応手順等)を確認し、関係者に周知

【主催】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会【後援】関係省庁(予定)



ひと、くらし、あいのために

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署  
Ministry of Health, Labour and Welfare

(R7.2)



## キャンペーン期間 5月～9月 にすべきこと



環境省  
熱中症予防情報  
サイト



STEP

1

### 暑さ指数の把握と評価

JIS規格に適合した暑さ指数計で暑さ指数を随時把握  
地域を代表する一般的な暑さ指数(環境省)を参考とすることも有効

STEP

2

### 測定した暑さ指数に応じて以下の対策を徹底



#### 暑さ指数の低減

準備期間に検討した設備対策を実施



#### 休憩場所の整備

準備期間に検討した休憩場所を設置



#### 服装

準備期間に検討した服装を着用



#### 作業時間の短縮

作業計画に基づき、暑さ指数に応じた休憩、  
作業中止



#### プレクーリング

作業開始前や休憩時間中に深部体温を下げる



#### 水分・塩分の摂取

水分と塩分を定期的に摂取(水分等を携行  
させる等を考慮)



#### 暑熱順化への対応

熱に慣らすため、7日以上かけて作業時間の  
調整  
※新規入職者や休み明け労働者は別途注意  
すること



#### 健康診断結果に基づく対応

次の疾病を持った方には医師等の意見を踏  
まえ配慮 ①糖尿病 ②高血圧症 ③心疾患  
④腎不全 ⑤精神・神経関係の疾患 ⑥広範囲  
の皮膚疾患 ⑦感冒 ⑧下痢



#### 日常の健康管理

当日の朝食の未摂取、睡眠不足、前日の多量  
の飲酒が熱中症の発症に影響を与えることを  
指導し、作業開始前に確認



#### 作業中の労働者の 健康状態の確認

巡視を頻繁に行い声をかける、「バディ」を組ませる  
等労働者にお互いの健康状態を留意するよう指導



#### 異常時の 対応

あらかじめ作成した連絡体制や対応手順等の周知徹底  
少しでも本人や周囲が異変を感じたら、あらかじめ作成した連絡体制や対応手順等に基づき適切に対応  
※必ず一旦作業を離れ、全身を濡らして送風することなどにより身体を冷却  
※症状が回復しない場合は躊躇なく病院に搬送する(症状に応じて救急隊を要請)

## 重点取組期間

7月

にすべきこと



- ☐ 暑さ指数の低減効果を再確認し、必要に応じ対策を追加
- ☐ 暑さ指数に応じた作業の中断等を徹底
- ☐ 水分、塩分を積極的に取らせ、その確認を徹底
- ☐ 作業開始前の健康状態の確認を徹底、巡視頻度を増加
- ☐ 熱中症のリスクが高まっていることを含め教育を実施
- ☐ 体調不良の者に異常を認めたときは、躊躇することなく救急隊を要請